

令和7年度工学部第3年次編入学試験の変更点について

1 「推薦による入学者の選抜」の廃止

「推薦による入学者の選抜」を廃止します。現行では、「推薦による入学者の選抜」と「学力試験による入学者の選抜」の2つの方法を実施していましたが、「学力試験による入学者の選抜」のみとなることで、推薦制度を実施していない学校からの受験生も平等の受験機会を得られることとなります。

変更前（令和6年度まで）
「推薦による入学者の選抜」
「学力試験による入学者の選抜」



変更後（令和7年度から）
廃止
「学力試験による入学者の選抜」

2 「学力試験による入学者の選抜」選抜方法の変更について

志望する主専攻プログラムに応じた基礎的な学力を判定するため、学力試験の科目は基礎科目を主体としたものに整理しました。具体的には、学力試験の科目を、数学・物理・化学・プログラミング・電気回路の5基礎科目から、志望する主専攻プログラムに応じた2科目もしくは1科目に変更します。これにより、異なるバックグラウンドを持つ受験生であっても、しっかりとした基礎学力を身に付けていれば、さまざまな分野を志望することが可能となります。さらに、客観的な指標である学力試験の成績を重視した入試とするため、面接（適性）の試験を廃止します。また、これまで曖昧であった各主専攻プログラムの募集人員を定め、概ねの人数がわかるよう配慮しました。

○変更前（令和6年度まで）

- ・書類審査（成績証明書）
- ・面接（適性）
- ・英語（TOEICまたはTOEFL）
- ・学力試験（専門基礎科目の筆記試験）

	主専攻プログラム	募集人員	出題科目
工学科	機械システム工学プログラム	20人 ※「推薦による入学者の選抜」と「学力試験による入学者の選抜」を合わせた募集人員	物理, 数学
	社会基盤工学プログラム		応用力学, コンクリート工学, 地盤工学, 水理学
	電子情報通信プログラム		電気回路, 電磁気学
	知能情報システムプログラム		数学（微分積分, 線形代数）, プログラミング, 論理回路
	化学システム工学プログラム（応用化学コース）		化学（無機化学, 分析化学, 物理化学, 有機化学, 高分子化学）
	化学システム工学プログラム（化学工学コース）		化学工学, 物理化学
	材料科学プログラム		物理学基礎, 化学基礎から1科目選択
	建築学プログラム		建築材料・構造, 建築環境工学, 建築計画
	人間支援感性科学プログラム		数学（微分積分, 線形代数）, 電気回路, プログラミング
	協創経営プログラム		数学
	合計		

○変更後（令和7年度から）

- ・書類審査（成績証明書）
- ・廃止
- ・英語（TOEICまたはTOEFL）
- ・学力試験（専門基礎科目の筆記試験）

	主専攻プログラム	募集人員	出題科目
工学科	機械システム工学プログラム	3人	「数学, 物理」の2科目
	社会基盤工学プログラム	2人	「数学, 物理」の2科目
	電子情報通信プログラム	4人	「数学, 電気回路」の2科目
	知能情報システムプログラム	4人	「数学, プログラミング」の2科目
	化学システム工学プログラム（応用化学コース・化学工学コース）	2人	「化学」1科目
	材料科学プログラム	1人	「化学」1科目もしくは「数学, 物理」の2科目
	建築学プログラム	2人	「数学, 物理」の2科目
	人間支援感性科学プログラム	2人	「数学」（必須）および「物理, 電気回路, プログラミング」から1科目の合計2科目
	協創経営プログラム		
	合計	20人	

※各主専攻プログラム等の募集人員は概ねの人数です。